

第2学年 生活科学習指導案

時間・場所 1校時 2年2組教室
学級 2年2組29名(男子15名, 女子14名)
授業者 T1鈴木 くみ子 T2長谷川 志保

- 1 単元名 うごく うごく わたしの おもちゃ
- 2 単元の目標

◎身近にあるものを使って、動くおもちゃを試行錯誤してつくり、友達と競争したり、工夫を教え合ったりしながら、よりよく動くように改良することを通して、動くおもちゃの面白さや不思議さを実感するとともに、遊び方を工夫して、みんなで遊びを楽しむことができる。

・身近な材料を使って、工夫して動くおもちゃをつくることに興味をもち、遊び方を工夫して、みんなで楽しく遊ぼうとする。(生活への関心・意欲・態度)

・「比べる」「繰り返す」「試す」などしながら、工夫して動くおもちゃをつくとともに、みんなで楽しく遊べるように、遊びの約束やルール、場所の設定を考えることができる。

・活動を通して、気付いたことを言葉や絵などで表現し、伝え合うことができる。(活動や体験についての思考・表現)

・おもちゃや遊び方を工夫する面白さや、おもちゃの動き方の不思議さ、工夫してみんなで遊ぶことの楽しさなどに気付くことができる。(身近な環境や自分についての気付き)

- 3 児童について

児童は、1年生のときに「つくろう あそぼう」での落ち葉や木の実での遊び、また、それを使ったけん玉やマラカスなどのおもちゃづくりなどを通して、身の回りにある自然のものを使って、遊びを工夫したり、楽しんだりすることができるようになった。しかし、個々の活動は夢中になって行すが、友達と関わって、十分に教え合ったり、話し合ったりすることができるとはいえない。

- 4 指導計画(全12時間)

- (1) 教師の作ったおもちゃで遊ぶ活動やパッチンガエルを作る活動を通して、遊ぶ活動への意欲をもち、一人一人がこのようにおもちゃをつくりたいという思いを膨らませる。・・・4時間
- (2) 試行錯誤しながら、動くおもちゃを作り、遊ぶ。・・・2時間
- (3) もっとうまく動くように、おもちゃを工夫する。・・・3時間(本時 1/3)
- (4) みんなで楽しく遊べるように、遊びの約束やルール、場所の設定を考えて、遊ぶ・・・2時間
- (5) 活動を振り返り、気付いたことを表現する・・・1時間

- 5 本時について

- (1) 目標

◎友達と関わりながら、もっとうまく動くようにおもちゃを工夫することができる。

・「比べる」「繰り返す」「試す」などして、おもちゃがもっと動くようにするための方法を友達と考えることができる。

- (2) 本時の評価規準

【活動や体験についての思考・表現】

「比べる」「繰り返す」「試す」などして、おもちゃがもっと動くようにするための方法を考えている。

【身近な環境や自分についての気付き】

おもちゃを工夫する面白さや不思議さ、みんなで活動することの楽しさに気付いている。

- (3) 研究に関わって

本時は、おもちゃがもっと動くようにするために、友達と相談しながら、さらに工夫を加えて

試す活動が中心である。

・学び合い活動の工夫

工夫するおもちゃを一つに絞り、ペアで活動することで教え合ったり、話し合ったりする活動を十分に行うことができるようにする。どのくらいうまく動くようになったかが明確になるように、壁や机に目盛りをつけ、まだ工夫していないおもちゃと同時に動かし、比較をさせる。

また、おもちゃごとに材料・作業のコーナーを分けて、ペア以外の子供たちからもアイデアをもらったり、比べたり、競ったりすることができるようにする。

・振り返り活動の工夫

振り返りの視点を示して、自分が活動したこととそれに伴って、気付いたことを振り返らせる。

(4) 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点 ◆評価の観点 ☆復興教育の観点 ◇特別支援の観点
導入 5分	1 前時の活動を想起する。 ・自分でおもちゃを作って、動かしてみて、困ったところやもっとよくしたいところを発表し合う。 2 本時の課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> アイディアを出し合って、おもちゃをパワーアップさせよう。その1 </div> ・学習の進め方を確かめる。	◇前時のワークシートの振り返りをもとに、全員が振り返ることができるようにする。T2は、活動が困難な児童の支援を行う。 ・友達と相談し合うことで、もっとパワーアップできそうだという期待感をもたせる。また、ペアのどちらかのおもちゃをパワーアップさせることを確かめる。
展開 30分	3 対象とかかわる。 ○友達と相談し合って、おもちゃをパワーアップさせる。 ・困っているところを解決するためのアイデアを出し合う。 ・いろいろな材料やしぐみ、飛ばし方を「比べる」「繰り返す」「試す」 ・ワークシートに工夫とうまくいったかどうかをメモしておく。	☆「みんなで支え合って前へ」の観点から、アイデアを出し合って、深めていけるようにペアで活動を行う。 ・おもちゃごとに材料・作業のコーナーを分けて、ペア以外の子供たちからもアイデアをもらったり、比べたりすることができるようにする。 ☆「大切な一人一人」の観点から、子供たちの気付きや工夫のよさを認め、それが広がるように、教師がまわりの子供たちに伝える。 ◆「比べる」「繰り返す」「試す」などして、おもちゃがもっと動くようにするための方法を考えている。(活動の見取り)
終末 10分	4 課題のまとめをする。 ・気付いたことや思ったことを発表する。 5 学習の振り返りをする。 ・本時を通して、気付いたことや次の時間に行いたいことなどをワークシートに書く。 ・全体で発表し合う。	◆おもちゃを工夫する面白さや不思議さ、みんなで活動することの楽しさに気付いている。(発言・ワークシート) ☆「大切な一人一人」の観点から、発表を聞き合うことによって、お互いを認め合う気持ちを育てる。 ・「○を○すると、○になることが分かりました。」 ・「○したら、○できました(できませんでした)。」 ・「つぎのかつどうでは、○してみたいです。」

